

# 第一回

## さくらぴあ

# 平和の舞 〈神楽の学校〉

魅力あるひろしま神楽！  
神楽のあるまちづくり！

Kagura for Peace "the School of KAGURA" 2020 in Sakurapia  
-Lecture, Workshop and the Performance of Kagura  
レクチャー・ワークショップと神楽公演

開催  
変更

beyond  
2020

M  
écénat

企業メセナ協議会  
助成認定活動

総監督 伴谷 晃二  
Chief Director Koji TOMOTANI  
総監督補佐/舞台監督 下戸成治美  
Vice chief Director  
Harumi SHIMODONARI  
レクチャー 片桐 功  
Lecture Isao KATAGIRI

\* 神楽展示(面・衣装)  
Showcase of Kagura costumes & masks.  
\* 衣装着衣体験と写真撮影  
Take pictures of the performers & costumes.

## ウッドワンさくらぴあ小ホール

廿日市市下平良一丁目 11-1 TEL 0829-20-0111

[入場料] 第1-3回各回 一般 2,000円 小中高 1,000円 ベア 3,000円  
(当日券 500円増) 第4回 一般 2,500円 小中高 1,000円 ベア 4,000円

- ①2020年10/31(土)
- ②2020年12/6(日)
- ③2021年1/11(月・祝)
- ④2021年2/13(土)

新型コロナウイルス拡大予防の影響で一部変更になりました。

### ①2020年10/31(土)

新舞 高井神楽団(広島市)「紅葉狩」  
Shinmai(New style dance) Takai Kaguradan



<レクチャー・ワークショップ> 14:30-18:00  
<神楽公演> 19:00-20:00(予定)  
ウッドワンさくらぴあ小ホール

### ②2020年12/6(日) [特別神楽公演]

儀式舞 比婆荒神楽社(庄原市)「猿田彦の舞」  
Gishikimai(ritual dance) Hibakoujin Kagurasha



<レクチャー・ワークショップ> 14:30-18:00  
廿日市市役所 2F会議室併用  
<神楽公演> 19:00-20:00(予定)  
ウッドワンさくらぴあ小ホール

### ③2021年1/11(月・祝)

旧舞 津浪神楽団(安芸太田町)「塵倫」  
Kyumai(old style dance) Tsunami Kaguradan



<レクチャー・ワークショップ> 14:30-18:00  
廿日市市役所 7F 会議室併用  
<神楽公演> 19:00-20:00(予定)  
ウッドワンさくらぴあ小ホール

### ④2021年2/13(土)

ウッドワンさくらぴあ小ホール

● <レクチャー・ワークショップ> 13:30-14:30  
ひろしま神楽の受容過程IV-今後の方向性-

● <ワークショップ-比較体験-> 14:45-16:00

● <神楽公演> 16:15-18:30(予定)

儀式舞 浅原神楽団 「鬼神」  
旧舞 津浪神楽団 「八岐大蛇」  
新舞 高井神楽団 「土蜘蛛」

[特別神楽公演] 19:00-20:45(予定)

旧舞 筏津神楽団 「天の岩戸」  
新舞 横田神楽団 「滝夜叉姫」

### [特別神楽公演]

旧舞 筏津神楽団(北広島町)「天の岩戸」  
Kyumai(old style dance) Ikadazu Kaguradan



### [特別神楽公演]

新舞 横田神楽団(安芸高田市)「滝夜叉姫」  
Shinmai(new style dance) Yokota Kaguradan



ゆきなり神楽写真館提供

### 【主催】ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト

【名譽顧問】自由民主党政務調査会長 衆議院議員 岸田文雄 / 公明党幹事長 衆議院議員 斉藤鉄夫  
自由民主党厚生労働部会長 衆議院議員 平口 洋 / 自由民主党税制調査会小委員長 参議院議員 官沢洋一(敬省略)

【共催】廿日市市教育委員会(公財)廿日市市芸術文化振興事業団 【協力】内閣府<beyond2020> FM はつかいち 76.1MHz 柿田勝郎神楽面工房

【助成】(一社)企業メセナ協議会 助成認定制度(公財)全国税理士共栄会文化財団  
\* 助成申請中:(公財)ひろしま文化振興財団(公財)カメイ社会教育振興財団(公財)ボーラ伝統文化振興財団

【協賛】オタフクソース(株) 柿田勝郎神楽面工房 生活協同組合ひろしま 田中電機工業(株) デリカウイング(株) 平田内科小児科医院 広島アンデルセン  
広島ガス(株)(公社)広島県薬剤師会 広島信用金庫 広島電鉄(株) 広島八谷建設(株) マツダ(株) (医)みやうち/(公財)みやうち芸術文化振興財団  
(医)八千代会/メリアハウスグループ(株)山崎本社(株)やまだ屋(4/9 現在)

【後援】広島県 広島県教育委員会 広島市・広島市教育委員会 廿日市市 安芸太田町(公財)ひろしま文化振興財団(公財)広島市文化財団  
(公財)広島平和文化センター 広島商工会議所 廿日市商工会議所(一社)広島県観光連盟(一社)はつかいち観光協会(一社)広島観光協会  
中国新聞社 朝日新聞広島総局 NHK 広島放送局 中国放送 広島テレビ 広島ホームテレビ テレビ新広島 広島エフエム放送 FM ちゅーピー76.6MHz  
FM はつかいち 76.1MHz 広島民俗学会 広島市文化協会 廿日市市文化協会 NPO 法人クリーン DC クラブ

【チケット】ウッドワンさくらぴあ事務室(会員割引あり) エディオン広島本店 福屋駅前店・福屋本店 ひろしま夢ぶらざ 来夢とごうち 千代田ショッピングセンター  
サンクス案内所(当日、会場受付でも購入可) \* 未就学児は無料(保護者同伴) 車椅子(介助者は補助椅子)の方は事務局にご相談ください

【お問合せ】ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト(とまたに) TEL 0829-38-2264 (9:00~17:00) ●廿日市市教育委員会生涯学習課 TEL 0829-30-9203 ●ウッドワンさくらぴあ TEL 0829-20-0111



# 平和の舞<神楽の学校 2020in さくらびあ>

## —レクチャー・ワークショップと神楽公演—

### KAGURA for Peace <“the School of Kagura”2020 in Sakurapia>

#### —Lecture・Workshop and the Performance of Kagura—



ヒロシマ・ミュージック・プロジェクト代表  
総監督 伴谷晃二  
Chief Director Koji TOMOTANI  
作曲家/エリザベト音楽大学名誉教授



総監督補佐 下戸成治美  
Vice chief Director Harumi SHIMODONARI  
六調子神楽/松ヶ原神楽団/広域十二神祇神楽協議会会員

神楽は本来「地域文化」の共同体から醸しだされてきたものであり、「農耕儀礼と奉納のみならず、亡くなられた多くの方への“鎮魂と再生と復興”を原意とする。本プロジェクトはく多文化社会と共生の理念のもとに「平和の舞」として、<ヒロシマからのメッセージ>負の遺産 核兵器廃絶・平和への希求“>を世界に発信し祈念することを目的としています。今回、「平和の舞<神楽の学校 2020in さくらびあ>—レクチャー・ワークショップと神楽公演—」では、儀式舞を基軸とし、旧舞—新舞へと発展して行った受容過程に着目し、子どもたちから一般社会人まで、世代を越えて関われる地域社会における“神楽”を展開してまいります。卓越した文化力を誇る<ひろしま神楽>は、“鎮魂と再生と復興”や“農耕儀礼と奉納”他、“自然との共生”を私たちに多くの示唆を与えています。このような進捗状況を踏まえて、基軸となる儀式舞とその発展である<伝統神楽>の旧舞や新舞、そして<創作神楽>への応用発展等について、神楽の歴史やワークショップや公演他を通して、<ひろしま神楽>の継承と後継者育成他、神楽文化・芸術の発展に貢献できれば幸いです

Kagura originates from the community of local culture, dedicating to not only agricultural rituals and dedication, but requiem, rebirth, and revival for people who died. This project, a dance for peace, based on the concept of coexisting in multicultural society, aims to convey the message from Hiroshima to the world; abolition of nuclear weapons and longing for peace.

KAGURA for Peace <the School of Kagura 2020 in Sakurapia> —Lecture, Workshop and Performance of Kagura— shows the history of Kagura; mainly how to develop the ritual dance style from old to new and involve almost all generations of local community. Hiroshima Kagura, especially, tells you more significant stories on its history. Through the workshops and performances, I sincerely hope to contribute the succession and successors, and the culture of art for Hiroshima Kagura.



レクチャー 片桐 功 音楽学/エリザベト音楽大学名誉教授 Lecture Isao KATAGIRI

神楽では最初に神をお招きするために、必ず舞場を清める儀式を行い、神迎えとか神降ろしとか四方祓いなどと呼ばれる儀式舞を舞うのが一般的です。芸北神楽には太平洋戦争までに作られた旧舞とよばれる神楽があり、これには江戸時代末期から明治にかけて島根県の石見神楽を導入した山県神楽とか、同じく島根県邑智郡の羽須美村阿須那地方から導入された高田神楽が該当しています。また終戦後に高田郡美土里町の佐々木順三氏によって創作された新舞があり、これは演劇性の高い神楽で、豪華な衣装を着用しテンポも速く、ショー的な要素があったことから、あっという間に芸北地方一帯に広まっています。

In kagura, in order to invite God first, it is common to always perform a ceremony to cleanse the dance ground, and perform ritual dances such as god reception, god lowering, and four-sided purge.

Geihoku kagura has a kagura called the old dance that was created before the Pacific war, such as Yamagata kagura that introduced Iwami kagura in Shimane prefecture from the end of the Edo period to the Meiji era, and Takata kagura introduced from Asuna district of Hasumi village in Ochi-gun of Shimane prefecture.

In addition, there is a new dance created by Junzo Sasaki in Midori-cho of Takata-gun after the war, which is a highly drama-like kagura, with gorgeous costumes, fast tempo, and show-like elements. It is quickly spread throughout the Geihoku region.



儀式舞 浅原神楽団 団長 松田克行  
Chief of Asabara Kaguradan Katsuyuki MATSUDA

当神楽団は明治6年、浅原亀山神社に奉納されていた『神輿』の色彩修理で来村していた、宮内村明石(現廿日市市宮内明石)の住人が浅原の青年達に伝えた。昭和40年に継承者もなく、1世代を超え、孫達に引継ぎがれ浅原子供神楽団と成る。子供達も大きくなり、昭和59年に再び浅原神楽団となる。現在は、当時の安芸十二神祇神楽に加え、六調子系、八調子系神楽も奉納している。

昭和54年、「社水」、「三本薙刀」、「恵比寿」が廿日市市(旧佐伯町)の無形文化財の指定。平成25年、広域十二神祇神楽連絡協議会会員。



旧舞 津浪神楽団 団長 末田健治  
Chief of Tsunami Kaguradan Kenji SUEDA

昭和6年河内神社を主祭神とし、その氏子により「津浪神楽団」として設立。石見神楽の流れを汲む山県舞の伝統を守り、六調子の旧舞を主体に継承し、今日に至る。活動は、地元をはじめ広島市等各地の秋祭りの神楽奉納、イベント出演や神楽競演(共演)大会等の出演。

神楽は皆様に支えられ伝承されてきた芸能。今後も伝承活動に努めると共に、神楽ファンの皆様へ感動していただける舞を目指し団員一同精進してまいります。昭和57年「第3回広島文化賞受賞」、平成23年「日本の祭りインハワイ公演」、平成30年「広島神楽グランプリ 第20代グランプリ受賞」(旧舞の部)



新舞 高井神楽団 団長 中川輝彦  
Chief of Takai Kaguradan Teruhiko NAKAGAWA

広島市佐伯区八幡東区の八幡神社を拠点に活動。百数十年の歴史をもつ伝統ある神楽団であるが、従前から安芸十二神祇神楽を継承してきた。生活様式の変化、団員の不足等で一時活動を休止したが、地域の神楽復活の願いに応え、平成9年に活動を再開。中国地方各地の神社への奉納他、各種イベント等年間30回程度公演。また県内各地での神楽競演大会において「優勝」や「準優勝」を受賞。また海外公演等の実績も重ねている。舞方・奏楽・裏方の一体感のもと、観客の皆様とともに楽しみ、共感し感動していただける神楽団を目指し日々精進している。

保持演目: [旧舞]「神降ろし」「鍾馗」「塵論」「八岐大蛇」「大江山」  
[新舞]「戻り橋」「滝夜叉姫」「紅葉狩」「土蜘蛛」「日本武尊」「悪狐伝」「羅生門」「山姥」



【特別神楽公演】旧舞 筏津神楽団 団長 今田修  
Chief of Ikadazu Kaguradan Osamu IMADA

筏津神楽団は、地元枝宮八幡宮の社伝記によると、天保13年(1842年)、筏津若衆連によって神楽奉納されたと記載されている。矢上系旧舞を基本とし、昭和に入り高田舞(新舞)を美土里町の団体から取得。幾多の先輩諸氏によって習い受け継がれてきた。

現在 団員は18名で活動。地元大蔵神社での奉納神楽をはじめ、各地の奉納神楽、神楽競演(共演)大会への出場、イベント、アトラクション等に出演。2019年10月、「第71回 芸石神楽競演大会」、「第41回 陰陽神楽競演大会」旧舞の部優勝。2019年11月、「第56回 大朝神楽競演大会」、いずれも旧舞の部優勝。



【特別神楽公演】新舞 横田神楽団 団長 久保良雄  
Chief of Yokota Kaguradan Yoshio KUBO

神楽奉納の最初の年代は不明。古老からの口伝や関係資料から、明治以前、江戸時代後半(約200年前)ころには、現在の神楽とは異なる形態の神楽を奉納していたと思われる。戦後(昭和20年以降)、新舞が創作発表されると新舞に取り組み、そして多く神楽競演大会に出演し受賞。

昭和22年、第1回 西中国神楽競演大会優勝<新舞 葛城山>、昭和23年、「第1回芸石神楽競演大会優勝<旧舞 鍾馗>」他、今日まで数多くの協演大会で優勝。「神楽グランプリ」には、過去19回のうち17回優勝。安芸高田市主催「神楽東京公演」に2回出演。2006年ブラジル移民100周年記念「ブラジル公演」に招聘。



【特別神楽公演】儀式舞 比婆荒神神楽社 社長 横山邦和  
Chief of HibaKoujin Kagurasha Kunikazu YOKOYAMA

比婆荒神神楽は庄原市東城、西城町を中心に行われる本山三寶荒神に奉納する祖霊信仰の神楽である。この地方には中世の名残「名」の形がそのまま残っており、本山三寶荒神は「名」全体の祖霊神とされ、守護神・産土神としての性格を持ち、その信仰は非常に厳しく、神楽は名内の人々が最も盛大に敬肅に行ってきた。またこの神楽は鎮魂の要素を残しているのが特徴といわれ、託宣の神事を伝えていることは全国的にも貴重な存在とされ、昭和54年(1974年)に、国の重要無形民俗文化財に指定された。

人々が最も盛大に敬肅に行ってきた。またこの神楽は鎮魂の要素を残しているのが特徴といわれ、託宣の神事を伝えていることは全国的にも貴重な存在とされ、昭和54年(1974年)に、国の重要無形民俗文化財に指定された。